

第3回防府市庁舎建設懇話会 会議録要旨

開催日時 平成27年1月14日（水） 午後6時から午後8時まで

開催場所 防府市役所1号館3階 北会議室

出席者

【委員】

鵜委員（座長）、古田委員（副座長）、大村委員、岡本委員、喜多村委員、林 甫委員、
広石委員、福田委員、田中委員、長峯委員、水田委員

欠席者

青木委員、林 勲委員、山野委員

【事務局】

吉川総務部長、岩田総務部次長、林総務課長、松村総務課長補佐、竹末総務課長補佐兼
庁舎建設準備室長、沼田総務課庁舎建設準備室主任
伊豆財政課長、高橋財政課長補佐

概要（発言要旨の文書は簡略化している。）

1 開会

2 議事

○第2回懇話会意見のまとめについて

会議資料「第2回防府市庁舎建設懇話会意見まとめ」について事務局から説明

○市財政状況等について

市財政状況について財政課長から、公共施設マネジメントについて事務局から説明

【質疑・意見等】

委員 財政状況が良いということは分かったが、庁舎建設に当たり財
源としてどれくらいまで確保できる見通しか。

財政課長 庁舎を建設するには多額の経費が必要であり、積み立てている
基金を超える部分については、多額の借金をしなければならない。
今の財政状況だからいくら出せるということにはなかなか結びつ
いていかないものだとしか答えられない。

- 委員 「庁舎建設の検討に係る報告書」に示された８７．８億円程度が妥当なところか。
- 財政課長 ８７．８億円は、庁舎建設プロジェクトチームにおいて想定した規模に対する概算総事業費であり、その財源としては基金を３０億円弱まで積立て、残りは借金をして将来返済していかなければいけないというもの。
- 委員 財源のひとつとして以前公募債について話した。例えばふるさと納税のように「私は市庁舎の建設を応援したいです」といった項目を付けるなどして市民の方にも理解いただきたいという思いがある。
- 事務局 ふるさと寄付金のようなかたちで寄付を募るといったことはできる。公募債となると制度を調べてみないと何とも言いえないが、いろいろなかたちで財源を求めていきたいと思っている。
- 委員 財源は極めて重要な現実であり健全財政がよいのは間違いないが、財源を出発として考えると縮小均衡したものになってしまう。人口、市税の減少が見込まれる中、人口減少に歯止めを掛けるまちづくりを進めていく上で何か夢を託すようなものが必要ではないか。市庁舎建設や中心市街地活性化などにより地域に勢いがあれば、財政も成長戦略が描けるといった発想もできるのではないか。
- 委員 庁舎建設のための基金は現時点でどの程度あるか。
また、８７．８億円はどの程度の規模、内容を想定して算出したものかを示すべき。前回の会議でも財源や計画について白紙であると事務局から答弁があり、夢と希望を持ってこれから５０年、１００年先の防府の真ん中の施設としてどうあるべきかを述べてきた。財政は大切だが、なぜ今財政について細かに説明するのか。懇話会の暴走にブレーキをかけるためか。懇話会の意味がなくなるのではないか。懇話会の出発点が未だに理解できない。
- 事務局 庁舎建設基金は毎年度積上げている状況で、現時点で２３億円弱ある。８７．８億円については、具体的な構想がない状態で職員のプロジェクトチームにおいて他市や国の基準等を基に想定される規模を算出したもの。規模については今後市庁舎に入れる施設等を検討していく中で変わっていくものであるので、今時点で平均的に想定される金額と考えていただきたい。
この懇話会の趣旨は広く意見を伺うというもの。来年度は基本計画策定のための市民委員会を立ち上げ、みなさんと議論しながら

計画を作っていきたいと考えている。

委員 87億円程度を想定しているか。また、基金は何年度までにどの程度積み上げていく計画か。

事務局 例えば、市庁舎に公会堂や市民の交流機能を入れるとなると87億円では収まらないだろう。また、建設場所によっても大きく数値は変わってくると思う。

事業費については基本的に基金と地方債で賄うことになると思うが、建設費の75%は地方債をたてることができるため、87億円を基に計算すると基金が30億円程度は欲しい。今後、平成27、28年度に基本計画を策定、平成29、30年度に基本設計、実施設計、31年度に着工できるとよいと考えており、それまでに積立てていきたいと考えている。

委員 他市の事例に挙げた市の事業費が知りたい。いろいろな機能を網羅した市庁舎がどの程度の事業費で建設されているかが分かれば参考になるのではないか。

事務局 次回お示しする。

座長 前回、分散立地している庁舎を集約すると利便性が向上するという意見があったが、市庁舎の再編について公共施設マネジメントの基本方針における再編とどのように整合性を図っていくのか。

事務局 公共施設マネジメントでは、市全体の公共施設について今後どのように再編して長寿命化や効率化を図っていくかについて検討を進めているが、市庁舎については早期実現を考えており公共施設マネジメントと切り離して進めていく。公共施設マネジメントとの整合性をとる必要が生じた際には適宜諮っていきたい。

副座長 ①建設年度あたりの公共施設の延床面積を示したグラフと、③1年あたりの公共施設の大規模改修、更新にかかる費用を表したグラフは同じようなカーブを描いている。旧耐震基準の建築物は耐震改修促進法により耐用年数によらず前倒しして改修しなければいけないと思うが、③に反映されているか。

事務局 反映していない。現在全体的な基本方針をたたいている段階であり、今後耐震性の有無も踏まえて施設ごとに考えていくこととなる。③の山をできるだけ小さくしたいという考えの基にマネジメントを実施していくことになるだろう。

座長 市財政状況や公共施設マネジメントの基本方針を念頭に今後の議論を進めていきたい。

○意見交換

会議資料「第3回庁舎建設懇話会 意見交換」について事務局から説明

(1) 機能・サービスについて

委員 市庁舎は古く、暗いイメージ。更に、執務室は職員の顔が見えないほど机の上に書類が置かれており、声を掛けるにも気兼ねをする状況。整理整頓をすることは職員の資質の向上にもつながる。これらを解消すれば新庁舎は明るく親しみやすいものになると思う。

座長 建築的にも視線を振りながらも、市民が一目瞭然でわかる造りが可能だろう。

委員 他市の事例にもあるように、一箇所の窓口で必要な書類が全部申請、交付できるシステム作りを考えてはどうか。

また、一般市民が来訪するスペースと行政事務スペースを分ければセキュリティ面からもよいのではないか。

委員 1階のスペースを充分確保すると共に、国、県の関係機関を含め全ての手続きができる総合窓口を備えるべき。また、高齢者や障害がある方の駐車場、庁舎内への移動に十分に配慮すべき。

団体の会議等を開催する際に空いてる会議室を使用するためだと思うが、毎回会場案内をもらい、庁内のいろいろな会議室で開催される。関連部署ごとに市民等と会議ができる会議室というかコミュニティ室を備えるべきではないか。

委員 現在、転入などの手続きをする際に複数の課へ移動して手続きをしないといけないが、ひとつの窓口に行けば手続きの重複がなくワンフロアの中で完了できることが必要。

また、庁舎コンシェルジュやフロアマネージャーが常にいればコミュニケーションをとりながら案内することができる。話すのが苦手な人にはパソコンで検索等できるようなシステムを備えることも大事。

委員 人が集まりくつろげるような大規模な空間があれば、イベントで使用したり、非常時には避難場所として使用するなど多面的に活用できる。

委員 さまざまな利用ができるパブリックスペースがあり、そこにいろいろな行政のサービスを行う窓口がある、市庁舎にというよりはそういったスペースに市の業務もあるというのがよいの

ではないか。執務室についても市民が見ることによって職員に意識を持っていただき、市民が集まりやすい環境をつくっていくべき。

座長 長岡市では執務室や議会もすべてガラス張りで外から見える構造となっている。

委員 公共施設を統廃合していく上では、スクラップするものとビルドするもののメリハリが必要で、市役所をどのようなものにするかは極めて大事。周辺からでも人が集まってくるような市の象徴、自慢あるいは誇りとなるように変えていかなければいけない。財政ももちろん大事だが、あえて思い切って造るということも必要ではないか。

委員 現在、災害対策本部に防府市を一望できるスクリーンなどがあるか。

事務局 災害対策本部設置時は、パソコンのデータを画面に映し出せるようにしている。

委員 どのように状況を把握しているか。まちの防犯カメラなどから映像を引っばったりしているか。

事務局 していない。職員が現地に行って状況を確認し、写真を撮るなどしている。

委員 市の中心部に高層のものを建て、カメラなどと繋げば大きな災害等があった場合にすぐに状況が把握できる。そういった機能を付けてはどうか。

また、市庁舎などに食料品等を備蓄しているか。

事務局 市庁舎の中にはないが、備蓄倉庫と各学校に防災倉庫を設けている。

委員 防災センター機能、災害対策本部の設置、備蓄スペースや予備電源などあらゆる災害に備え対応できる拠点としての機能を備えるべき。

また、太陽光発電を充分に取り入れていただきたい。

委員 音声による情報が聞き取りにくい人もいるので、目で見える情報が有効だと思う。市が発令する防災メールや気象情報を庁舎内だけでなく外にいる市民にも見えるかたちがよい。

副座長 建設費が多少高くても維持管理費が非常に安ければ長期的に見れば財政的負担が少なくなるという考え方もあるだろう。

例えば、ロンドンの市庁舎は卵のようなすごい形をしているが、直射日光が入らず、太陽光エネルギーを発電だけでなく空

調にも利用しほとんどエネルギーを使わない工夫がされている。

使えるお金は限られているので、ライフサイクルコストを考
えて維持管理費を抑えるアイデアが必要。環境負荷を考える上
でも大事だと思う。

委員 場所にもよるが、新庁舎は植栽により緑に囲まれたものにな
ってほしい。家族連れで楽しめる健康的な広場のようなものを
兼ね備えているとよい。

委員 利用する市民の動線と働く職員の事務がスムーズに行える動
線とがマッチしないとスムーズな手続き移動にならないと思
う。

副座長 プライベートなデータを扱う部分に市民が入るとするのは控
えた方がよいが、職員と市民のコミュニケーションがとれると
いう意味では、動線は重ならなくても視線は通るというデザイ
ンが必要だと思う。

事務局 総合窓口については、ワンフロアに窓口を集めて市民の方が
動いて手続きをしていただくパターンや市民の方は動かずに職
員が入れ替わり手続きをするパターン等ありそれぞれメリッ
ト、デメリットがある。

庁内でも部会を立ち上げて防府市独自の総合窓口、ワンスト
ップについて議論したいと思っている。

また、庁舎コンシェルジュについては現在4号館に1名配置
している。

座長 公共施設マネジメントの市民アンケートでは、充実を求める
公共サービスの1位、2位は子ども関係の施設、第3位が市役
所となっている。市庁舎においても子供、子育て世代に充分配
慮する必要があると思う。

委員 紫波町や長岡市の庁舎建設の事例について以前テレビで紹介
していた。規模や財政状況、土地の状況が違うので防府市にそ
のまま当てはまらないかもしれないが、参考になるのではない
かと感じた。

委員 ワンフロアを大会議室や会議専用のフロアとし、部署に関係
なく使用でき、また広く市民も使えるような市庁舎の組立てを
考えてはどうか。

委員 先日、下関市役所で鯨を取り入れたランチを始めたという情
報をテレビで見た。防府市でもそういった食堂ができれば市民

も職員も利用できていいなと思った。また、どこかの県庁に託児室というか子育ての部屋を新設したとテレビで放送していた。この二つの機能の設置をお願いしたい。

座長 食堂は市民に開放するところであり、重要な位置づけになるだろう。市民がくつろげる空間や緑地、広場などと隣接させる、あるいは展望にしたらどうかなど食堂のあり方を考えることができるだろう。

委員 市役所は用事があるから行くところというイメージが強いが、諸団体や市民が市役所に行って何かをしようというように市役所を使うということになればイメージが変わると思う。

ワンストップサービスについては、他市でよい先進事例があると思うのでそれを取り入れることも大事だと思う。

座長 ワンストップサービスの先進事例を事務局で調べて次回紹介してほしい。

委員 防災センターをつくるのは難しいと思うが、憩いの場や会議に使える場に電源を多く設置する、情報が映し出せるモニターをすばやく設置でき対応できるなど防災センターとしての機能を果たせるようなシステムをプラスして検討してはどうか。

また、市民が市庁舎に来て安全だと感じられるように防犯カメラを設置するべきではないか。

委員 情報化の時代でこれから市役所に行く機会はもっと少なくなると思う。市役所がどのように変わっていくと予測を立てたらよいだろうか。ガラス張りの中で職員が働くイメージを持つか、子育て支援の充実、あるいは今の事務的な部分は市役所の支所に行けばできるようになるなど。

空間をフレキシブルに使うというだけでなく将来の変化を見据えるという意味でのフレキシブルというものを考えると、個性的なものがよいかあまり個性的でない方がいいか、緊張感を持って職員が働くのがよいかそうでない方がいいかなど市役所をどのように考えたらいいのだろうかと思う。

座長 庁舎はこれから50年以上根付いていく施設だと考えると、将来の市民のライフスタイルに合ったものでなければ結果として使いにくい施設となってしまう。将来の市民のライフスタイルや市役所との関わり方をある程度イメージし、ビジョンにして計画に映していくというアプローチをとるのがよいだろう。

副座長 例えば、住民票をとる際にわざわざ市役所に出向いて順番を

とり書類ができるまで待つということをしなくても居酒屋の注文システムのように iPad のようなものに必要事項だけを入力して予約しておけば、時間のあるとき、時間外にでも窓口に行けば本人確認をした後に受け取れるバーチャルオフィスといったものも考えられる。最新の OA 機器、あるいはペーパーレスの仕組みは恐らく民間企業の本社ビルのオフィスなどでは実現しているレベルの技術であり、市役所もオフィスという意味では類似した作業形態をとっているので民間企業の事例も参考になるのではないかと。

家族みんな仕事をしていてなかなか市役所に行けないというケースも多いと思うので、バーチャルで申込みなどができるようになれば、休日も例えば 1 階フロアだけ開放し、わずかな職員で対応して手続きできるといった視点で設計してはどうか。

委員

個人情報など決して人の目に触れてはならないものについては市の業務としてしっかり担保していくことが必要だと思う。顔が見える執務室もよいと思うが、見えるということはそういった情報も人の目に映るということなので、市民に何でも開放するというのではなく守るべきところと開放するところを分けて考えないといけないと思う。

(2) 象徴・駐車場について

委員

駐車場は平地で何百台も停められる土地を確保するということが理想的ではあるが、なかなかそうはいかないとすると空間の確保、混雑を避ける、あるいは雪や雨が降ってもさっと入れることを加味して立体駐車場を考えてもよいのではないかと。

今でも実施していると思うが、新庁舎では庁舎を中心に 2、3 キロの職員は自転車等で通勤するというのを厳格にして市民中心の駐車場であるということに踏みきるべきではないかと。

委員

職員の駐車場に広いスペースを確保することはもったいない。防府市には駐車場がたくさんある。これを使えばまちの活性化にもなるので職員は自分で駐車場を確保すべき。

委員

箱型の市役所ができ、そこにふんだんに停められる駐車場をつくるというのが一番よくないと思う。ハンディキャップのある方やどうしても必要な人については近くに用意しなければいけないと思うが、願わくば少し離れたところに車を置いてそこから歩いて行けるとよい。

何ものなければ近くに車を置きたくなるので、緑のエリア、商店街や飲食などがあってにぎわいをつくっていく、また、忙しい人には駐車料金をある程度高くしてでもたくさんの車が入っていくことを抑止する仕組みをつくるべき。

市役所がどこにあろうともそこが中心市街地にならなければいけないと思う。遠くから歩いて来てもそれをあまり感じず楽しめるものになれば、市役所に用事があるから行くのではなく、市役所に行こうとなるだろう。

副座長

緑の通り抜けというか木々がびっしり茂っていてその下を通れば少々雨が降っても傘をささずに行けるといったものがあるれば、夏は日差しを避けることもできる。花もあればなおよい。そういったものがあれば名物になるのではないか。

座長

歩いてもらうということをコンセプトとして考えると当然駐車場とセットで考えなければいけない。駐車場もしくは歩くということをどのようにとらえるかは今後基本計画を考えていく上で非常に重要なキーワードになる。十分な検討が必要だろう。

事務局

現在、来客者用駐車場が約150台ある。2月から3月の申告時期がピークで駐車場が足りず多い時で10台程度は車が停められず駐車場をぐるぐる回っている状況。実際に利用者から苦情を受けることも多い。

委員

新しい市庁舎は税や年金の関係など市民に直接関係のある窓口は全て1階でエレベータや階段を使わなくてもサービスできるように考えてほしい。

3 その他

- ・ 4回目は2月13日（金）午後6時から開催する。
- ・ 大雪のため中止した視察について、2月20日（金）に実施する。

4 閉会